

## 受講生自己紹介

### 山崎 千種 広島大学附属福山高等学校 2年生 「グローバル発展コース」

私は、科学の様々な分野について知りたいと思い、GSCOに応募しました。基盤コースでは、今まであまり触れる機会がなかった分野の講義を受けることができ面白かったです。今は、地球科学班でコンピューターを用いて、地形の解析をして、地震地形について調べています。やったことのない作業などで、戸惑うことも多かったのですが、グループで楽しく活動しています。英語で科学のことを学べる講義もあって、最初は、意見を述べることに躊躇してしまうこともありましたが、回数を重ねるにつれて、積極的に発言できるようになりました。これからもGSCOで学びを深めていきたいと思っています。



### 永山 龍那 岡山県立倉敷天城高等学校 2年生 「グローバル発展コース」

私は中学三年の時からGSCOに参加していて、つまり今年三回目ですが、その三回目にして自己紹介文を書くことができるのはとても感慨深いような気がします。受講して、中学ではもちろん高校でも到底できないような実験や全国規模の発表会を通して、自分の研究者になるという夢をまさに現在進行形で叶えているという実感が持てました。また、受講する前から目指していた生物学オリンピックに向けて共に競える友人とも出会うことができました。私にとってGSCOは、ほかの人よりも多くチャンスに巡り合える場です。これからも積極的にチャンスをつかみ、全力で取り組んでいこうと思います。



### 真弓 麻衣子 岡山県立玉島高等学校 2年生 「先取り基盤コース」

きっかけは学校の化学の先生からの勧めでした。私は環境と工学の関係について学びたいと考えていたので、このGSCOに応募させていただきました。参加してみて、「ここでなら、もっと成長できるかもしれない」と感じました。大学の先生の講義や合宿など高校ではできないことを通して、環境をはじめ、様々な分野の知識が身に付いてくのがわかります。また、その度に自分の視野が広がり、様々な角度から物事を考えられるようになっていく気がします。講義で得たものを自分のものにし、これからの活動に取り組んでいこうと思います。



### 阿部 悠和 岡山白陵高等学校 1年生 「先取り基盤コース」

僕は高校生になり、今後どの道に進んで行こうかと迷ってました。このまま高校生活を過ごすのはもったいないと思い、僕もGSCOに参加しているような経験をしてみようと思いました。普段高校では出来ない実験をしたり聞けない専門的な講義を受けることで興味が増してきました。個々の文化や歴史が影響する学問とは異なり、科学は世界共通言語のようなものだと思っております。"Global"とあるように、科学において世界で通用する人が必要だということです。今後もGSCOを通じ最先端の技術や内容を糧に進路を確立し突っ走っていきたくです。



### 岸本 光永 岡山県立岡山操山高等学校 1年生 「先取り基盤コース」

自分の通う岡山操山高校～SOZAN国際塾で、この先取り基盤コースを知り、受講させていただきました。高校より専門的で、かつ色々な知識が身につく大学の先生が行われる講義は、興味深いものです。特に印象に残っているのは、グループで活動した英語の講義です。普段よりも活発に発言できますし、学習そのもののスケールが大きくなった気がします。また、他校の生徒の方と交流が深まる良い機会になっていると感じています。



### 森 豪大 土佐塾高等学校 1年生 「先取り基盤コース」

私は今回、高知県から初めてGSCOに参加しました。私は、将来の夢を叶えるために必要な知識、視点を学び発見するためにGSCOに参加しました。私の将来の夢は、都市計画をする仕事に就くことです。GSCOには都市計画に直結する講義はありませんが、大学の先生が科学に関する講義をするので様々な体験ができるので、私は参加してよかったと思っています。GSCOでは高校の授業とは異なる体験がたくさんできると感じています。



### 棚田 夏美 岡山県立岡山一宮高等学校 1年生 「先取り基盤コース」

私は宇宙のことに興味をもっています。将来は宇宙で実験してみたいです。趣味は天体観測です。学校では体験できないような実験や、大学の講義を受けたいと思い参加しました。人前で話すことはあまり得意ではありません。だからGSCOに参加して聴いている人に正確に伝えることができるようになります。



科学先取りグローバルキャンパス岡山 岡山大学次世代人材育成センター  
〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中2-1-1 ■Tel: 086-251-7195  
■メール: sakidori@science.okayama-u.ac.jp  
■HP: http://www.science.okayama-u.ac.jp/sakidori/



科学先取りグローバルキャンパス岡山

# News Letter

Science Ahead Global Campus Okayama

挑戦!夢をこえて

2016/10 ISSUE 6

## H28年度「科学先取りグローバルキャンパス岡山」開講式

日時: 2016/08/07 (日) 13:30~16:00

場所: 岡山大学大学院自然科学研究科棟 2階

概要: 開会宣言

「科学先取りグローバルキャンパス岡山」の説明  
次世代人材育成センター長 許理事 挨拶  
関係者(教育委員会・高校教諭)挨拶  
講師紹介/自己紹介



8月7日に平成28年度の開講式を開催しました。実施3年目となり、定員を上回る受講生が新しく基盤コース生に選抜されました。また発展コースには、昨年度基盤コースの修了生と研究をさらに深化させる継続生、合わせて24名が選抜されました。センター長やコンソーシアム関係者から激励を受けた受講生は、1人ずつ意気込みを披露しました。(味野 道信)

### 【受講生の感想】

- ◆私がこのGSCOに参加する意義と目的は、正に思考の枠組みを「考える」作業をすることで取り壊し、そして、成長することにあると思った。そのため、このコースで沢山の知識に触れ、物事を多様な面から考えること、またそれぞれの知識に対して「わかった」を止めることなくどんどん掘り下げることを念頭に頑張っていこうと思う。
- ◆色々な人の自己紹介を聞いて、多種多様な趣味を持ち、尖った人が沢山いたので、どんどん話しかけて自分の知識になるよう吸収していきたい。
- ◆大学という、高校とはまた違った場で学ぶチャンスを得られたので、頑張って発言して積極的に講義に参加していこうと思う。
- ◆先生方が皆、自身の専門分野に誇りを持っていることが伝わってきたので、こちらも真剣に受けようと思った。
- ◆岡山大学で実際に講義をされている先生方のお話を聞けると知ってわくわくしている。これから始まるキャンパスが楽しみだ。



## 「先取り基盤コース」

### 合宿研修西はりま天文台/SPring-8 (兵庫県佐用郡佐用町)

2016/08/16(火)~08/17(水)開催

受講生たちの親睦を兼ねて、西はりま天文台にて合宿を行った。開講式からもあまり間がなく、生徒達には最初ぎこちない振り舞いも目についたが、宇宙生物に関する講義、日本一口径の大きい望遠鏡の見学、食事の時間などを経て、すっかりお互いに打ち解けた様子を示したので私達も安どした。翌日は、世界に誇る放射光施設“SPring-8”を見学し、とても高価な機器を使用して行う高度な研究の一端を覗き見て、生徒達も心に期するものがあつたようである。これらの企画に協力いただいた、西はりま天文台の皆様、SPring-8の河村氏に厚く御礼申し上げます。(原田 勲)



#### 【受講生の感想】

##### 【天文講義】

◆生命の誕生と恒星の進化という話は、スケールの大きい話で何とも不思議な気持ちになり、自分が生きていることについて真剣に考えるきっかけになった。

##### 【望遠鏡見学】

◆日本で一番、世界で一番の望遠鏡を見ることができた。自由自在に動く姿に驚いた。様々な国の技術が一つ一つの部品に生かされていて、一つの素晴らしい芸術作品にも見えた。

##### 【SPring-8】

◆実際に色々な設備を見学し、実物はやはり迫力が違った。細かい装置を近くで見ることができてとても興奮した。◆「日本の技術は凄い」とまた感じた。世界と競っているところは本当に素晴らしいと思う。

##### 【合宿全般】

◆世界に通用する技術や装置を間近で見ると、合宿だからこそできる体験が沢山あり、また、県内外の仲間も沢山できた。これからGSCOでしっかりコミュニケーションをとり、切磋琢磨していきたい。◆日ごろ家で勉強しているだけでは得られない知識や刺激や経験を得ることができた。



## 「グローバル発展コース」研究発表

「応用物理・物理系学会中国四国支部合同  
学術講演会・Jr.セッション」でポスター発表  
(2016/07/31(日))

物理系学会のJr.セッションで、発展コース生が「改良型超伝導特性測定システムの開発」の題目で発表を行いました。

各大学の先生からの質問やコメントを参考にさらに研究を進める予定です。  
(味野 道信)



## 「生物実習」

「旭川共同調査」に参加  
(2016/8/25(木) ~ 8/27(土))

受講生が理学部生物学科の集中講義「生物学特論」に参加しました。旭川で魚類採集や環境計測を行い、採集した魚類の同定を行いました。プログラムの後半では市民参加型の調査「旭川ウナギ探検隊」の運営にも協力しました。

(旭川での魚類採集実習)



## 「グローバル発展コース」・「先取り基盤コース」

### 企業訪問 株式会社クラレ岡山事業所 (岡山県南区)

2016/08/10(水)開催

岡山県産業労働部のご尽力により、地元「クラレ岡山事業所」の企業見学が実現した。クラレが誇る複雑でしかも 微妙な紡糸作業の見学や岡山大学出身である中堅技術者の自分の高校時代を振り返りつつ、現在の自分を考える講演を聞き、生徒達は自分の将来の姿をおぼろげながら描き始めたようであった。クラレ岡山事業所の方々や岡山県の稲家氏に厚く御礼を申し上げます。(原田 勲)



#### 【受講生の感想】

◆地元の企業の素晴らしい技術に触れることができた。開発から60年経った今でも丈夫な素材として身の回りに使われ(中略)岡山県でそのような繊維が合成されたことを誇りに思った。今、このような素晴らしい技術が日本にあるので、自分たちの世代もそれを引き継ぎ、新しいものを生み出し、「世のため、人のため、他人にやれないこと」をしていきたい。

◆会社の人の話で、自身の興味のあることを発展させて仕事に就いたと聞き、自分が今していることにも全て意味があると思った。

◆「できない理由より、できる理由」という言葉が胸に残った。この先の生活においても大切だと思った。

◆岡山からこのような地元企業に就職した人の話を聞くと、自分の将来は身近なところから広がったり、その分野の第一人者になれる、色々な可能性があることが素敵だと思った。



## 講師・スタッフ紹介

### 富永 晃

岡山大学大学院自然科学研究科 准教授

私の専門は、生物学です。細菌や細菌に感染するバクテリオファージの遺伝子の機能や発現調節についての研究をしています。遺伝子は、生物の設計図を構成する単位のひとつです。親子が似ているのは、この遺伝子であるDNAの塩基配列が、ほとんど同じだからです。現在では、多くの生物の設計図であるゲノムDNAの塩基配列が解読されていますが、それだけでは、その生物を理解できたとは言えません。どの遺伝子が、どこでいつ発現して、どのような働きをするかを明らかにする必要があります。原核生物のモデル生物の大腸菌は約4000個遺伝子をもつことが明らかにされていますが、科学技術の発達した現在でも大腸菌の全ての遺伝子の働きについて、完全に理解されていません。機能未知の遺伝子が、みなさんによって解明されるのを待っています。私は、細菌の運動器官である鞭毛を形成する遺伝子を研究対象として、遺伝子の多様性に興味を持って、その多様性が生まれていく様子を調べています。



### 長尾 有香

学務部 学務企画課総務・企画グループ

私は科学先取りグローバルキャンパス岡山を円滑に実施できるよう、お手伝いをさせていただいております。

本プログラムでは大学の講義や実験や研究を体験できます。また、研究施設を訪れる合宿研修もあります。分野のプロである先生や、同じ関心を持つ友人とぜひたくさんお話してください。普段の学校生活では経験できないこれらの活動を通じて、興味のあることをもっと深く学んだり、今まで考えてもみなかったことに興味を持ちたりして、受講生のみなさんの世界が広がればとても嬉しいです。

分からないことや困ったことがあれば、ご相談ください。どうぞよろしく  
お願いいたします。

